

地方独立行政法人福岡市立病院機構  
令和4年度第7回理事会 議事録（要旨）

- 日 時：令和5年1月25日（水）16:00～16:40
- 場 所：Web会議（事務局：こども病院2階 市民病院4階）
- 出席者：原理事長（議長）、桑野副理事長、瓜生理事、神坂理事、野中理事、近藤監事、柳澤監事  
[欠席：石橋理事]
- 議 事

【報告事項】

1 令和4年度決算見込について

<概要>

令和4年度決算見込について、事務局より報告を行った。

<主な意見等>

- 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の類型変更を、今年春に「2類」相当から、季節性インフルエンザ並みの「5類」に移行が検討されているようであるが、今後、コロナ関連の補助金の見通しについて現時点で分かっている範囲で説明いただきたい。
- 現時点では来年度以降のコロナ関連の補助事業の継続についての確実な情報は持っていない。感染症法上の2類相当から5類へ移行されるとなると補助事業の法的な根拠もなくなることとなるため、コロナ関連の補助金は無くなるか、何らかの形を変えて縮小するのではないかと令和5年度予算では見込んで対応をしていく必要があると考えている。
- 給与費が両病院とも予算と比較して下がっているが、なぜ、こんなに忙しく大変な状況であるにもかかわらず、給与費が下がっているのかが分からないため説明いただきたい。
- 予算で見込んだ人員と実人員との差や、中途退職や育児休業などにより給与費の不用が生じたことによるもの。
- 中途退職者が出ても人員の補充はしていないのか。
- 中途退職者の補充は、有期職員の雇用で対応している。
- 看護職員の減員は現場に支障が生じないように補充をしていただきたい。
- コロナ関連の補助金がなくなった場合、コロナ以外の患者の受入れによる収入が増えると思うがその状況でも収入は落ち込むようになるのか。
- コロナ以外の患者の収入は増となるが、それ以上にコロナ関連の補助金収入が多かったことによるもの。

2 職員団体表彰（年末表彰）について

<概要>

職員団体表彰（年末表彰）について、事務局より説明を行った。

（受賞内容）

《最優秀賞 1件》

○テーマ：COVID-19記録集「波濤を越えて」の刊行

受賞者：福岡市民病院 職員一同

《優秀賞 3件》

○テーマ：重症COVID-19患者をはじめとした小児重症患者の救命への貢献

受賞者：福岡市立こども病院 集中治療科

○テーマ：COVID-19流行下での緊急手術による患者救命への貢献

受賞者：福岡市立こども病院 心臓血管外科、小児外科

○テーマ：土・日・祝日におけるコロナ対策本部対応

受賞者：福岡市民病院 SCU 当直医

《特別賞 1件》

○テーマ：電車内での救護活動

受賞者：福岡市民病院 看護部 職員

<主な意見等>

- 団体が表彰対象者となっている場合に、賞状や副賞はどのようにしているのか。
- 賞状や副賞は、表彰を受けた団体に渡している。
- 優秀賞に該当しているテーマは、人命にかかわることなので最優秀でもいいのではないか。
- 人命にかかわることは本来の使命であるが、コロナ禍で長期間にわたって高度な治療に取り組んだことに対して評価されている。
- 最優秀賞であるコロナに関する記録を残すことは、コロナ禍でどこの病院も大変忙しく記録に残すところまで手が回らなかった中でコロナ禍の中でもしっかりと記録として残されたことは、今後、同様なことが発生した場合において他の医療機関等においてもとても参考となるものであるため、最優秀賞としてふさわしいと思う。
- 民間の病院などでは医師や看護師は流動性が高いため、長期に勤務した方への表彰をすることが多いが、当病院機構ではそのような制度はあるのか、また今後何か検討しているのか。
- 当病院機構の職員は、福岡市職員と同じ互助団体の福岡市職員厚生会に加入しており、福利厚生の一環として、永年勤務の助成制度がある。当病院機構独自の制度は現在ない。